



平成23年9月15日

各 位

会 社 名 株式会社ヒガシトゥエンティワン  
代表者名 代表取締役社長 阿知羅 英夫  
(東証第二部・JASDAQ コード9029)  
問合せ先 取締役執行役員  
役職・氏名 管理本部長 中橋 俊和  
電話06-6945-5611

### 東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおり平成23年7月26日に公表いたしました「平成24年3月期第1四半期決算短信（非連結）」であります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	平成24年3月期 (予想)			平成24年3月期 第2四半期累計期間 (予想)		平成23年3月期 (実績)	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	17,620	100.0	0.7	8,488	100.0	17,491	100.0
営業利益	702	4.0	2.8	255	3.0	683	3.9
経常利益	670	3.8	△0.1	241	2.8	671	3.8
当期純利益	338	1.9	0.4	116	1.4	336	1.9
1株当たり 当期（四半期）純利益	58.85			20.34		58.59	
1株当たり配当金	17円			—		17円	

(注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。

2. 平成23年3月期、平成24年3月期第2四半期累計期間及び平成24年3月期の1株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均株式により算出しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヒガシトウエンティワン  
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 阿知羅 英夫  
 (氏名) 中橋 俊和

TEL 06-6945-5611

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,593	8.6	208	81.9	216	84.5	117	90.0
23年3月期第1四半期	4,231	4.7	114	△1.4	117	2.9	62	3.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.49	—
23年3月期第1四半期	10.79	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,845	4,911	45.3
23年3月期	11,377	4,894	43.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,911百万円 23年3月期 4,894百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,488	△2.5	255	△18.6	241	△22.2	116	△19.3	20.34
通期	17,620	0.7	702	2.8	670	△0.1	338	0.4	58.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	5,750,000 株	23年3月期	5,750,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	76 株	23年3月期	76 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	5,749,924 株	23年3月期1Q	5,749,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響により、生産力の低下や個人消費の低迷等、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当貨物運送業界においても、東日本大震災の影響による生産活動の低下に伴い国内貨物輸送量が低迷しており、価格競争の激化等もあり依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓及び付加価値の高いサービスの提供による売上拡大並びに内部管理体制の一層の充実とコスト削減、安全対策にも注力してまいりました。

当第1四半期累計期間の業績につきましては、新規の赴任引越業務及び輸配送業務の地域拡大、並びに東日本大震災の影響を受けたことによる3月実施予定の赴任引越業務の一部が、第1四半期累計期間に実施されたことにより、売上高は45億93百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

利益面につきましては、原価圧縮により売上総利益は8億46百万円(同13.7%増)となり、販売費及び一般管理費の増加はあったものの、営業利益は2億8百万円(同81.9%増)、経常利益は2億16百万円(同84.5%増)、当期純利益は1億17百万円(同90.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①運送事業

当事業につきましては、売上高は31億円(前年同期比11.6%増)となり、セグメント利益は2億27百万円(同25.8%増)となりました。これは新規に受注した赴任引越業務及び輸配送業務の地域拡大に加え、3月実施予定の赴任引越業務の一部が第1四半期累計期間に実施されたことによるものです。

#### ②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は7億20百万円(前年同期比7.1%増)となり、セグメント利益は1億65百万円(同44.4%増)となりました。これは物流センター業務が順調に推移し、保管並びに作業収入が増加したことによるものです。

#### ③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は5億10百万円(前年同期比1.4%減)となりましたが、セグメント利益は19百万円(同21.5%増)となりました。これはOAトナーの販売が減少したものの、梱包資材販売が増加したことによるものです。

#### ④その他

当事業につきましては、売上高は2億61百万円(前年同期比0.1%減)となりましたが、セグメント利益は16百万円(同22.5%増)となりました。これはビジネスサポート関連事業が減収となったものの、福祉用具レンタル業務及び駐車場事業の売上が増加したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は108億45百万円となり、前事業年度末に比べ5億31百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、受取手形及び営業未収入金が回収により5億12百万円減少し、現預金が1億27百万円増加いたしました。

また、負債は59億34百万円となり、前事業年度末に比べ5億47百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、借入金56百万円、営業未払金が4億96百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ16百万円増加して49億11百万円となり、自己資本比率は2.3ポイント増加し45.3%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における業績は、対前年比で増収増益で推移しておりますが、第2四半期累計期間の業績並びに通期業績予想につきましては、当初の予想から大きく増加するとは考えていないことから、現時点では業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,151,319	1,278,405
受取手形	350,588	386,531
営業未収入金	2,542,439	1,993,566
商品	81,047	36,790
その他	240,331	239,043
貸倒引当金	△28,930	△23,800
流動資産合計	4,336,795	3,910,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,947,366	2,899,736
機械装置及び運搬具(純額)	94,504	93,533
土地	2,797,459	2,797,459
その他(純額)	60,538	59,500
有形固定資産合計	5,899,869	5,850,230
無形固定資産	122,316	121,239
投資その他の資産		
投資有価証券	162,273	107,490
差入保証金	601,987	601,519
その他	343,620	344,169
貸倒引当金	△89,696	△89,796
投資その他の資産合計	1,018,184	963,383
固定資産合計	7,040,370	6,934,853
資産合計	11,377,166	10,845,389
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	51,292	30,073
営業未払金	1,517,277	1,020,913
短期借入金	850,000	925,000
1年内返済予定の長期借入金	1,175,740	1,181,280
未払法人税等	193,569	104,030
賞与引当金	182,006	89,609
その他	369,536	739,980
流動負債合計	4,339,422	4,090,887
固定負債		
長期借入金	1,435,130	1,297,950
退職給付引当金	212,136	207,384
役員退職慰労引当金	130,690	123,810
その他	364,869	214,293
固定負債合計	2,142,825	1,843,438
負債合計	6,482,247	5,934,325

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	333,150
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	4,461,600	4,481,694
自己株式	△42	△42
株主資本合計	4,890,658	4,910,751
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,260	312
評価・換算差額等合計	4,260	312
純資産合計	4,894,918	4,911,064
負債純資産合計	11,377,166	10,845,389



(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,231,265	4,593,459
売上原価	3,486,595	3,747,047
売上総利益	744,669	846,411
販売費及び一般管理費	629,869	637,639
営業利益	114,799	208,771
営業外収益		
受取賃貸料	10,083	10,803
その他	13,442	15,885
営業外収益合計	23,525	26,688
営業外費用		
支払利息	16,848	14,960
賃貸費用	3,197	4,095
その他	1,034	79
営業外費用合計	21,080	19,136
経常利益	117,245	216,324
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,000
特別利益合計	—	6,000
特別損失		
固定資産除却損	—	4,405
会員権評価損	—	100
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,377	—
特別損失合計	2,377	4,505
税引前四半期純利益	114,867	217,819
法人税等	52,838	99,976
四半期純利益	62,029	117,842

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。